



◎県立図書館と新聞社を見学

8月18日にこども図書館員講座の特別講座として福島県立図書館と福島民報社の見学を行いました。今回の講座は公民館主催「おやこ体験くらぶ」との合同事業で、計39人の親子が参加しました。県立図書館職員の見学を聞きながら館内を見学した後、福島民報社では新聞のできる過程を学びました。普段はできない体験を通し、親子で本や新聞について身近に感じる機会となりました。

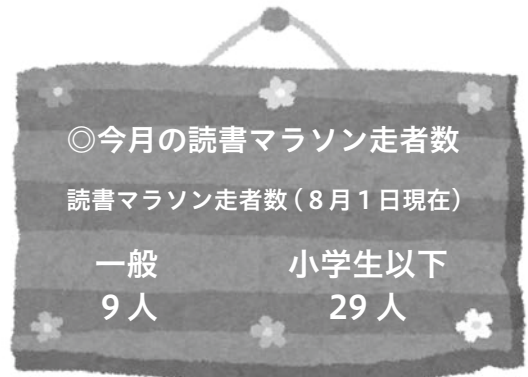


説明を受ける参加者の皆さん



◎こども美術館 名画に親しもう！  
「体験講座名画を模写しよう」を実施

7月23日から8月21日まで「こども美術館名画に親しもう！」として著名な洋画の複製画の展示会を行いました。また8月17日には「体験講座名画を模写しよう」を実施しました。小学生らが参加し、思い思いに模写を楽しんでいました。



※折り返し地点通過(50冊読破)の方が増えてきました。



児童書

『さよなら、エルマおばあさん』

大塚 敦子／文・写真  
小学館／刊



余命1年と宣告されたエルマおばあさんを飼う猫の目を通して追った写真絵本です。病を受け止め、延命せず命をまっとうしようとするおばあさんとそれを支える家族の姿がモノクロ写真で穏やかに映し出されています。命の尊さや家族との関わり、老いを受け止める様子が心に響く本です。(小学校中学年から)

一般書

『100歳が聞く100歳の話』

日野原重明／聞き手  
実業之日本社／刊



104歳の医師、日野原重明氏と今も第一線で活躍中の100歳前後の芸術家5人との対談集です。対談からは芸術や生き方に信念を持ち、激動の時代を乗り越えた様子が伝わってきます。病や老いも制作の糧とし、何歳になっても前向きに進む姿勢が元気で勇気を与えてくれる一冊です。